

令和4年 2月定例会

福井県議会だより

第36号

審議の様子は
YouTubeを
ご覧ください



定例会の概要

2月定例会は、2月14日に開会し、3月16日までの31日間にわたって審議を行いました。

今定例会では、新型コロナ対策について、オミクロン株の感染急拡大を受け、基礎疾患がある場合の入院基準等の対応方針や宿泊療養施設への入所体制、5～11歳の小児へのワクチン接種等について質疑がなされました。また、感染拡大の影響を受けている事業者等への支援についても議論がなされ、2月22日の本会議において、売上が減少した事業者への事業継続の支援など緊急的に必要な経費に関する補正予算案を可決しました。

北陸新幹線関連への対応については、県内開業に向けた機運醸成や、二次交通としてのJR小浜線、越美北線の活性化やバス事業者への支援、地域鉄道の経営を担保する法整備の実現などについて活発な議論が交わされました。

このほか、アリーナ構想など県都にぎわい創出、「ふく育県」宣言による子育て支援策の評価、原子力政策の方向性明確化への強力な働きかけ、原油高による県内経済への影響と対応、農業政策、教員の働き方改善など県政全般にわたり広範な議論を行いました。

また、3月11日には、ロシアによるウクライナ侵略を強く非難するため、臨時の本会議を開催し、即時攻撃停止と部隊の撤収、侵略開始前の原状に復することなどを強く求める「決議案」を可決しました。

このような審議を経て、閉会日には、追加上程された、福井県感染拡大特別警報発令の影響を受けた事業者等への追加支援などの補正予算案1件および福井海区漁業調整委員会委員の任命同意に係る議案1件を含めた知事提出議案70件を可決または同意し、今定例会に付議された案件の審議を終了しました。

令和4年度当初予算について

2月定例会では、令和4年度一般会計予算案、令和3年度一般会計補正予算案を可決しました。令和4年度一般会計予算と令和3年度2月補正予算などを一体的に編成し、予算規模は合計で5,840億円となりました。北陸新幹線敦賀開業まで2年となり、本県にとって百年に一度の好機に向けた対策に重点が置かれた内容となっています。ここでは、可決した予算の内容の一部をご紹介します。

●百年に一度のまちづくり・にぎわいづくり

- 官民連携による「県都まちなか再生ファンド」造成事業（13億5,000万円）
全国で初めて、県、福井市、経済界が連携し、まちづくりへの投資を支援
- 六呂師高原活性化事業（5,100万円）
六呂師高原に新たに参入する民間事業者を誘致
アジア初の「星空保護区^(※)」の認定に向け、県有施設の光害対策を実施 (※)米NPO団体が実施する「アーバン(都市部) ナイトスカイプレース部門」
- 恐竜エリア拡大プロジェクト（1億1,500万円）
「恐竜といえば福井」と感じられるエリア・コンテンツの整備を推進
- 民宿リニューアル支援事業（2億1,500万円）
地域一体となった観光地再生に取り組む民宿の大規模改修を支援
旅の目的となる特別感のある上質な宿泊施設などへの改修を支援
- 2024「嶺南誘客キャンペーン」開催準備事業（500万円）
新幹線敦賀開業に向け、市町等とともに「嶺南誘客キャンペーン」基本計画を策定
- ふくい桜マラソン開催推進事業（9,600万円）
年間を通したラン・ウォークイベントやDXを活用した取り組み、1年前イベントの開催
- 一乗谷朝倉氏遺跡博物館開館記念事業（7,200万円）
日本最大の戦国城下町「一乗谷ミュージアム」の魅力を県内外に発信

●DXによるポストコロナの社会変革

- 県民向けサービス連携基盤整備事業（3,400万円）
様々なサービス間で情報を連携させ、地域課題解決に向けた「生活のDX」を推進
- 医療のICT化促進（1,900万円）
医療資源が不足するへき地でのオンライン診療の導入に向けた実証
在宅患者に関わる様々な職種間（医師・看護師・薬剤師等）の情報共有基盤の整備
- 「ふく割」による消費喚起事業（8億2,300万円）
小売、飲食、サービス業のお店で使える電子クーポンを発行
- 新型コロナウイルス感染症対策（182億6,000万円）
相談検査体制…一元的相談窓口の確保、検査体制の整備、民間検査機関等における検査経費の支援
医療提供体制…病床確保の支援、宿泊療養施設の設置、軽症者等の自宅経過観察の実施
ワクチン接種体制…専門的相談窓口の設置、ワクチンの流通調整などの実施、県による大規模接種会場の設置・運営、ワクチン接種に取り組む医療機関や市町への支援

●福井県は、「ふく育県」子育て支援の予算額を倍増（R3年度20億円→R4年度40億円）し、日本一の子育て県へ
この他、長期ビジョンの着実な推進のための事業も盛り込まれています。

詳しくは、福井県HPをご覧ください。 <https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/zaisei/fukuikenyosan/tousyo04.html>



自民党福井県議会 田中 宏典 議員



知事の政治姿勢について

- ・新型コロナウイルス感染症対策について、県内の感染状況、陽性者・接触者サポートセンターの運営状況を含めて県内の保健・医療体制の現状と課題をどのように認識しているのか伺うとともに、今後どのように感染拡大を防止していくのか、知事の所見を伺う。

観光行政について

- ・北陸新幹線敦賀開業を2年後に控え、これまでの機運醸成イベント等の実施状況と手ごたえを伺うとともに、今後、更なる機運醸成をどのように図っていくのか、知事の意気込みを伺う。

民主・みらい 西畑 知佐代 議員



知事の政治姿勢について

- ・任期最後の年度を迎えるに当たり、集大成となる今回の当初予算案について、象徴的な一言で表現すればどういった予算と言えるか、具体的にどのような成果を求めた予算となっているのか、知事の所見を伺う。

教育行政について

- ・公立学校における、配付されたタブレット端末の自宅での活用およびオンライン授業の実施状況について、現状・課題をどう認識しているのか、今後、オンライン授業が実施できる環境をどう整備する方針か、所見を伺う。

一般質問

自民党福井県議会 兼井 大 議員



- ・新型コロナウイルス感染症対策
- ・雪や災害に強いまちづくり
- ・県内観光資源の「とがった」情報発信
- ・六呂師高原活性化構想案
- ・JRローカル線利用促進

全国のキャンプ施設と、六呂師高原活性化構想案の差別化を質問提案しました。

民主・みらい 渡辺 大輔 議員



- ・並行在来線 駅まち魅力づくり支援事業
- ・第6波における学校の感染予防対策
- ・重度障がい児の卒業後の受入れ施策
- ・教員不足の解消策

教員不足の解消策、学校のコロナ感染予防対策について質疑、提言しました。

民主・みらい 野田 哲生 議員



- ・県民主役の開業PRへ向けて
- ・地域公共交通の将来像
- ・高齢者福祉

新幹線開業に向け～県民主役での盛り上がりと公共交通のサービス向上を！

自民党創政会 笹岡 一彦 議員



- ・農林水産業は国、県の生命線
- ・プロバスケットボール支援を
- ・福井の「ものづくり」の危機
- ・教員不足の解消を
- ・女性活躍社会の推進を

県議生活19年間の総決算！北陸3県を副首都にとプロバスケットボール支援はライフワーク。

一般質問

自民党福井県議会 長田 光広 議員



- ・新型コロナウイルス感染症対策
- ・ふくいが目指す農林水産業

コロナを抑え、空を世界とつなぎ飛躍し成長する福井を実現いたしましょう！

日本共産党福井県議会議員団 佐藤 正雄 議員



- ・オミクロン株の状況を踏まえたコロナ対策
- ・県民生活支援策の拡充を
- ・教育行政
一働き方改革・情報公開提供のあり方

高校演劇「明日のハナコ」、真黒の公文書公開は県民の知る権利を侵害するもの。

自民党福井県議会 山浦 光一郎 議員



- ・子育て支援と核燃料税
- ・自立援助ホームと子どもシェルターへの支援
- ・地域みらい留学
- ・おしよりん

今後も子どもシェルターの設立と運営に尽力していきます。

自民党福井県議会 松崎 雄城 議員



- ・北陸新幹線
- ・成年年齢の18歳引下げ
- ・大雪対策

北陸新幹線敦賀以西着工に向けた重要な1年になるので意気込みを聞きました。

自民党福井県議会 田中 三津彦 議員



- ・機能強化後の恐竜博物館
- ・特定健診、がん検診
- ・学校、通学路の安全

恐竜博物館は機能強化後に向け、様々な仕掛けが必要です。

公明党 西本 恵一 議員



- ・ヤングケアラー支援
- ・新型コロナ対策
- ・県都活性化対策

ヤングケアラー支援について、相談窓口の設置とともに具体的な支援を要望。

無所属 細川 かをり 議員



- ・未来の山林環境
- ・高齢者の就労促進と市民生活
- ・県有施設トイレ個室への生理用品配備
- ・原発廃炉後の立地地域

廃炉スキームはどうあるべきか、今後も追求してまいります。

自民党福井県議会 小寺 惣吉 議員



- ・県産農林水産物の6次産業化
- ・ふくい桜マラソン
- ・並行在来線の利益向上策

県産農林水産物の六次産業化と健康増進のため米食を中心とした食育を推進すべき。

自民党福井県議会 山本 建 議員



- ・公共交通機関の利便性向上と並行在来線駅の周辺整備
- ・映画「おしよりん」
- ・地場産業の人材育成
- ・全天候型の子どもの遊び場
- ・福井県のホームページ

地場産業の人材育成について提言しました。

民主・みらい 北川 博規 議員



- ・福井県障がい者福祉計画
- ・子ども・若者育成支援
- ・敦賀市民間最終処分場
- ・時間外勤務80時間超をゼロにする取組みの状況

社会全体を俯瞰する姿勢と、将来を見据えた取組みの大切さを感じます。

◆本会議・委員会の傍聴のお知らせ

本会議の傍聴は、当日の先着順です。議事堂2階の傍聴席入口前で傍聴券を受け取り、入場してください。傍聴席には、質疑等の内容を文字データでお知らせするモニターを配置しています（代表質問および一般質問）。

委員会の傍聴は、各委員会開催日の3日前（土・日・祝日を除く）の正午までに申込みをしてください。傍聴希望者が定員を超えたときは抽選となります。

詳細は、福井県議会のホームページをご覧ください。 HP : <https://www.pref.fukui.lg.jp/gikai/>



審議の様子は
YouTubeを
ご覧ください

予算決算特別委員会

無所属 鈴木 宏治 議員



- ・福祉日本一の県づくり
- ・徹底的な行政改革

福祉施設の職員、子育て中の親に手を差し伸べる政策を求めました。

自民党福井県議会 斉藤 新緑 議員



- ・健康増進
- ・農業政策

自然免疫力を強める保健予防の見直し、食の安全を軸に地産地消推進。

自民党福井県議会 力野 豊 議員



- ・コロナ禍からの「出口戦略」

コロナ禍からの出口戦略、今後はインフルと同じ5類に変更すること、政府に提言を！

自民党福井県議会 田中 敏幸 議員



- ・原子力行政について（小型高速炉）
- ・県立大学

原子力の将来像は安全な小型高速炉開発。県立大学への人文学部設置を提言。

自民党福井県議会 大森 哲男 議員



- ・新型コロナ（オミクロン株）の感染者の状況と対策
- ・今後のステルスオミクロン株(BA. 2)感染対策
- ・県内経済状況とその対応策
- ・県都再生への取組と西武デパートの動向

今、21世紀最大の危機の時、前例や常識に囚われない対応が必要！

自民党福井県議会 畑 孝幸 議員



- ・長期ビジョンとまちづくり
- ・新幹線開業と二次交通の整備

「過疎対策支援」と「移住・定住・子育て支援」の充実を求めました。

自民党福井県議会 清水 智信 議員



- ・コロナで困窮している飲食店等の事業者への支援
- ・子どものコロナワクチン
- ・都心部の高度人材を活用した「ふくい幸副業」
- ・農業と余剰人材のマッチングを
- ・トライアスロン開催

飲食店支援を強く求めた。また子供のワクチンや嶺南でトライアスロン大会開催を！

自民党福井県議会 西本 正俊 議員



- ・原子力政策
 - (1) 共創会議
 - (2) 原子力リサイクルビジネス
- ・新型コロナウイルス対策
- ・子育て支援

共創会議は、原子力政策と一体であることを国と共通認識を持つべきと資した。

自民党福井県議会 松田 泰典 議員



- ・新型コロナウイルス感染症対策
- ・将来の福祉人材の確保
- ・新幹線開業後の地域振興
- ・原油高の県内経済等への影響

新型コロナ対応、将来の介護人材確保、越前海岸の開発、原油高騰対策を！

自民党福井県議会 仲倉 典克 議員



- ・県政全般

コロナ禍における経済対策について、質問しました。

※議員の所属会派は、2月定例会時点での会派で掲載しています。

予算決算特別委員会では、長田 光広 議員、西本 恵一 議員、田中 宏典 議員、渡辺 大輔 議員、北川 博規 議員も質問を行っています。

代表質問、一般質問を行った議員は、この欄には掲載しておりませんが、審議の様子は、YouTubeでご覧になります。

新型コロナウイルス 感染拡大防止のための議会運営にご協力ください

- 議事堂入口にサーモカメラを設置しています。
- マスク着用・入室前手指消毒・体調不良時の入室自粛にご協力ください。
- 会議中、換気のため定期的に休憩を入れています。
- 傍聴の際は、体調の確認、傍聴席の間隔をあけて着席を依頼しています。

常任委員会

総務教育常任委員会

「福井県立学校職員定数条例の一部改正について」、「包括外部監査契約の締結について」等の10議案について審査を行い、原案どおり可決しました。

所管事務の調査では、「公共施設等総合管理計画の中間見直し案」等について質疑を行うとともに、「家庭教育に関する調査結果と今後の取組」、「教員の人材確保」、「県職員採用募集」、「JRローカル線」等について議論しました。

また、池田町立池田中学校生徒に係る事案について教育委員会に説明を求め、県の受け止めや再発防止策等について確認しました。



JR小浜線

厚生常任委員会

「福井県国民健康保険財政安定化基金条例および福井県国民健康保険条例の一部改正について」、「福井県病院事業の設置等に関する条例の一部改正について」、「附属機関に関する条例および福井県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例の一部改正について」等の7議案について審査を行い、原案どおり可決しました。

所管事務の調査では、「原子力政策」、「犯罪被害者等支援」、「海岸漂着物対策推進計画」、「新型コロナウイルス感染症対策」、「今後の子育て支援策」、「不妊治療中核施設」、「フッ化物洗口の安全性」等について議論しました。



子どもの遊び場のイメージ

産業常任委員会

「福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館の設置および管理に関する条例の一部改正について」、「福井県工業技術センター使用料および手数料徴収条例の一部改正について」、「福井県公営企業の設置等に関する条例の一部改正について」、「福井県工業用水道条例の一部改正について」の4議案について審査を行い、原案どおり可決しました。

所管事務の調査では、「六呂師高原活性化構想案」、「ふくい桜マラソン」、「雇用対策」、「県内の景気動向」、「ロシア・ウクライナ情勢の影響」、「福井県第二種特定鳥獣管理計画(ニホンジカ、イノシシ、ニホンザル)案」等について議論しました。



ふくい桜マラソン 大会ロゴマーク

土木警察常任委員会

「福井県公安委員会等手数料徴収条例の一部改正について」、「福井県道路公社の解散について」等の7議案について審査を行い、原案どおり可決しました。

所管事務の調査では、「成人年齢引き下げによる被害防止」について調査を行うとともに、「自主防犯団体によるパトロール」、「登山届の提出促進」、「出所者および元暴力団組員の社会復帰支援」、「福井県住宅・宅地マスタープラン改定案」、「流域治水対策」、「舞鶴若狭自動車道4車線化に伴う残土処理」、「福井空港の小型ジェット機利用」、「今年度の除雪対策」等について議論しました。



成人年齢引き下げによる大学生に対する被害防止研修の内容



本委員会に付託された令和4年度福井県一般会計予算等の41議案について審査を行った結果、原案のとおり可決しました。審査の過程であった主な質問や意見は次のとおりです。

○新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナ（オミクロン株）の感染が急拡大し、感染者数が高止まりしていることを受け、感染状況の分析や基礎疾患がある場合の入院基準等の対応方針、宿泊療養施設への入所体制についてただしたのに対し、「家庭や学校等での感染割合が多く、全体の7～8割に及んでいる。呼吸器疾患等の病歴がある場合は重症化リスクが高いため原則入院とし、軽症で自宅経過観察とする場合でも症状に応じて医療機関で早期治療を行える体制をとっている。宿泊療養施設については、無症状や軽症であっても、自宅での隔離が困難な場合や家族へ感染を広げる不安があるなど、希望があれば基本的に受け入れる運用としており、入所を勧める方向で対応していきたい」との回答がありました。

また、5～11歳の小児へのワクチン接種について、強制ではなく任意であることをしっかり伝えて欲しいと求めたのに対し、「小児への接種は、予防接種法上の臨時接種に位置づけられており、市町村長は接種を勧奨することになっている。保護者にはメールや新聞広告等で、接種が強制でないことやメリット、デメリット等の情報をお知らせするなど、判断できる環境をしっかりと作っていきたい」との回答がありました。

さらに、コロナ禍で困窮する中小事業者への支援について、まん延防止等重点措置の適用を要請せず、独自の支援により感染防止と経済活動の両立を図る方針とのことだが、事業者が置かれた状況は非常に厳しく、新たな支援が必要であると求めたのに対し、「まん延防止等重点措置の適用となっていない自治体への支援等の拡充を引き続き国に求めるとともに、県としても何らかの対策が打てないか至急検討したい」との回答がありました。

○北陸新幹線開業に向けた二次交通の整備について

利用促進や乗り継ぎ利便性向上の観点から、恐竜列車の運行や県内各路線での電子決済の導入、他社の路線図の掲載等の取組を求めたのに対し、「各鉄道事業者等と調整や検討を行う」との回答がありました。

また、地域鉄道の法整備化やホスピタリティーの高い観光バスコースの設定、隠れた歴史遺産の掘り起こしのほか、バス事業者への支援についても議論が行われました。

○県都のまちづくり・にぎわいの創出について

県都のにぎわい創出について、アリーナ構想における民間・市・県の役割と位置づけ、オープンまでのスケジュールについてただしたのに対し、「県都にぎわい創生協議会において、福井市東公園を建設候補地とすることや官民協力の在り方を議論していくことなどが合意された。新幹線の開業効果を持続的なものとし、駅前の賑わいづくりにも大きく寄与することから、新幹線開業後なるべく早い時期にオープンできるよう進める必要がある」との回答がありました。

○人口減少対策について

子育て支援について、「ふく育県」を掲げて予算の重点化を図ったことについて、全国トップクラスと言える充実した内容となっているのかただしたのに対し、「核燃料税引上げなど一般財源の増分の活用により、標準財政規模に占める子育て支援の予算の割合は全国1位と言える。全天候型の遊び場整備や在宅育児応援手当の支給等、全国で例のない分野についても事業を実施しており、子育て世代の目線に立った拡充を図っている」との回答がありました。

また、子育て支援以外の人口減少対策についても議論が行われました。

○原子力・エネルギー行政について

共創会議における地域の将来像や基本方針は、原子力政策の方向性が明確に示されるまで確定し得ないことについて、国と共通認識を持つておくべきではないかとただしたのに対し、「原子力政策の方向性の明確化と共創会議の議論を継続しながら同時並行で行っていくことを国も理解している。また、国は、共創会議の基本方針と工程表を示した後も毎年会議を開催し、変化があれば見直しを行っていくとしている。3月中に3回目の会議が開催される予定だが、決着がつかなければ、4回目も開いて議論していくという姿勢で臨みたい」との回答がありました。

また、原子力リサイクルビジネス、小型高速炉についても議論が行われました。

このほか、農業政策、福井空港の利活用、ヤングケアラーへの支援、教員の確保、社会教育の在り方、ロシアのウクライナ侵略、原油高の県内経済への影響等広範多岐にわたり、理事者の見解と対応をただしました。

議会改革検討会議では、議会機能の強化や効果的な議会運営等について検討しています。

新型コロナウイルスの影響を受け、感染症拡大時や災害時の業務継続性保持、業務効率化等の観点から、行政の各分野においてデジタル化が進められており、県議会においても、令和2年度に当検討会議内に、各会派の議員から構成されたワーキンググループを設け、ICT化推進について検討を進めてまいりました。

令和3年度においては、タブレット端末を使ったペーパレス会議システム（資料等の電子化）、メールやチャット等のコミュニケーションツールの導入（議員と議会局の連携強化）、委員会や協議等の場^(※)のオンライン形式による開催方法の検討および常任委員会のインターネット中継の導入に向けた試験運用を実施し、課題の洗い出しや解決策の検討を行いました。その主な内容についてご紹介します。

資料等のペーパレス化

効果的な議会運営を目指し、本会議および委員会、全員協議会などの協議等の場におけるペーパレス会議システムの導入に向け、令和3年度はワーキンググループの議員にタブレット端末を配備して試験運用を実施しました。

令和4年度は全議員が参加して紙資料と併用した上でペーパレス会議システムの試験運用を行います。また、令和5年度からの本格運用に向けて、操作方法等の研修を行うとともに、タブレット端末での閲覧を前提とした資料の様式・規格の統一および紙資料の廃止に向けた手順について検討を行っていきます。

議員と議会局の連携強化

タブレット端末の導入により、共通のメールやチャット機能等を活用することで、議員と議会局との円滑な連絡体制を構築し、情報共有の効率化・高度化を図ることが可能になります。

こうしたコミュニケーション機能を最大限活用するため令和4年度は、議員の習熟度に応じた研修を実施するほか、専門知識を有するスタッフの配置や議会局内の職員体制を強化するとともに、システムや通信障害時の対応、議員からの様々な質問に即応できるサポート体制を構築する予定です。

オンライン形式による委員会や協議等の場の実施

感染症拡大や災害発生等により委員が議事堂に参集できない場合においても審議機会の確保を図るため、委員会や協議等の場におけるオンライン会議の運営方法を検証しました。また、オンライン形式により開催できる会議の対象範囲や、具体的な開催条件についての検討を行いました。

令和4年度は、運用方法の検討、関係条例規則等の改正およびカメラやモニター等の設置等の環境整備を行い、オンライン会議の運用を開始する予定です。



オンラインによる会議の様子

※協議等の場（協議または調整を行うための場）

地方自治法第100条12項に基づき、議案の審査または議会の運営に関し協議・調整等を行うために設置するものです。本県では、全員協議会や各派代表者会議、議会改革検討会議等が設置されています。

◎「街なかピンポン」が優秀賞を受賞しました

福井駅周辺の商店街内のスペースに卓球台を設置し、誰でも気軽に街なかでスポーツができる場所を創出した県の取組み「街なかピンポン」が、スポーツ庁主催の第一回「Sport in Life アワード」優秀賞を受賞しました。

「街なかピンポン」は、令和3年8月に開催しました「ふくい高校生県議会」において高校生が提案し、10月9日～11月7日に実現されたものです。



「福井県議会だより」へのご感想をお聞かせください。

福井県議会ホームページの「福井県議会だよりアンケート」のページから、ご感想、ご意見をさせていただきます。



発行 福井県議会広報会議

〒910-8580 福井市大手3丁目17-1

福井県議会 議会局総務課

電話：0776-20-0605 FAX：0776-20-0674

HP：https://www.pref.fukui.lg.jp/gikai/

Facebook：https://www.facebook.com/fukuikengikai